

教師教育に関する国際会議 報告



スウェーデン ウプサラ大学 持続可能開発センター
日本女子大学

浅野 由子

岡山ESDフォローアップ会議in岡山
平成27年3月14日(土) 10時~16時
岡山国際交流センター 8F

会議主旨と内容

- 主催：国際教師教育ネットワーク
- 日時：2014年11月14日（金）～17日（月）
- 場所：岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館（きらめきプラザ）
- 内容：「持続可能性」に向けた教師教育をしているユネスコチェアに関連する機関の国際ネットワークによる持続可能な開発の為の教育の10年（DESD）のフォローアップ的な会議
- 参加者：39カ国93人（アジア、アフリカ、アラブ、欧州・北アメリカ、ラテンアメリカとカリブ諸国）



これまでの活動

- 1998年：国連の持続可能な開発委員会が「教師教育にESDを取り入れるためのプログラム開発」を、ユネスコに依頼
- 1999年：カナダ・トロントのヨーク大学がユネスコ・ツインチェアを設置
- 世界60カ国以上の教員養成、教員研修にかかわる大学教員や実践者が参加。持続可能性にかかわるあらゆる教育活動、研究活動、ESDの専攻・コース・大学院のプログラム・センター、管理職や教員に向けた専門的な研修の開発について議論
- 開催会議：カナダ（2000）、南アフリカ（2002）、スウェーデン（2004）、フィンランド（2006）、トルコ（2008）、フランス（2010）、カナダ（2012）、日本（2014）

会議前後の活動と抱負

① 会議以前の活動

2009年: 国連DESDの半年にあたり、ドイツのボンで行われたDESD会議にて、教師教育機関 (TEI: Teacher Education Institution) におけるカリキュラム・プログラム等における「持続可能性」への方向性を強化することが宣言。

2010年: 世界の5つの地方を代表する28か国30機関の教師教育機関の国際ネットワーク (IN: International Network) が設立。ネットワークは、地域・国、地方の教師教育機関を地域に関連する文化的に適切な方法で、教師教育を再形成するという可能性を持つ。

これまで会議の成果: この会議の2年毎の議論の変遷において、実践の成果報告、カリキュラム作成、カリキュラムへの浸透、教科を越えた取組、ホリスティックな取組、教員研修といった教員にESDが浸透してきており、地域的な広がりも大きくなっている。

② 会議以後の活動

地域毎のNING (インターネット交流) によるネットワーク強化による交流、特に、研究者間と教育機関間の教師・学生の交流促進

③ 今後取り組みたい活動

☆市の環境問題についてのマルチステークホルダーによる問題解決: 川の水の汚染問題事業

☆RCE (地域専門センター) の活動 ステークホルダーをつなぐ組織と人材を配備

☆地域と文化にあった活動 横断的 (地域) と縦断的 (世代交流) の活性化

本会議の内容

- ①「国連 ESDの10年」におけるアジア・太平洋、欧州・北アメリカ、ラテンアメリカ・カリブの地域ごとの活動の成果と課題報告
- ②教育段階、地域ごとのESDの展開方法、政策決定者との連携、教員の能力開発、評価方法の検討
- ③生物多様性や気候変動、防災、文化多様性に向けてESDの果たす役割の検討
- ④グローバルアクションプログラム（GAP）の推進についての各地域の実情に応じた検討

1日目 11月14日(金)午前

☆ オープニングセレモニ(午前
1):チェア:チャールズ・ホプキン
ス氏

岡山市教育委員会教育長:山脇健氏

岡山市ESD世界会議推進局長:浅井孝司氏

研究とESDにおけるユネスコチェア、岡山大
学副学長:阿部宏史氏

名古屋市で開催された「ESDに関するユネ
スコ世界会議」からのメッセージ:ヘイラ
・ロッツ・シシツカ氏、カロリーブックラー氏

GAP(グローバルアクションプログラム)への
挑戦と可能性について



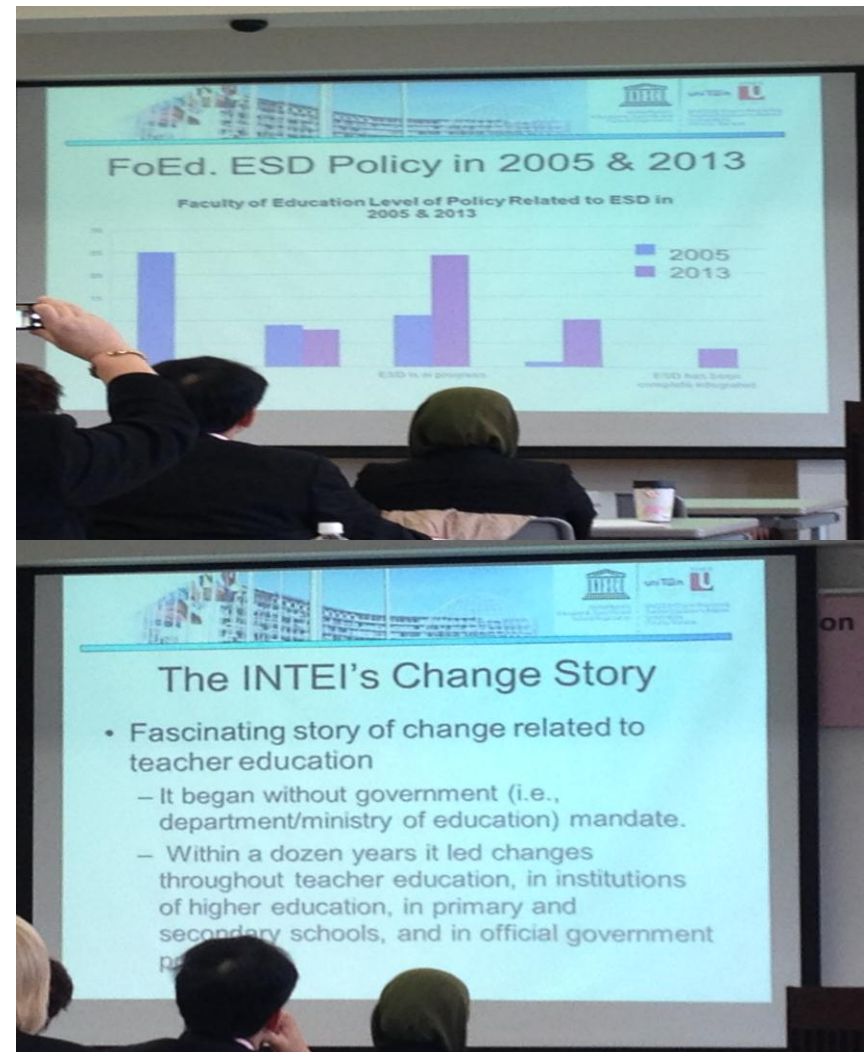
1日目 11月14日(金)午後

★ オープニング講義(午後1):チェア:市瀬智紀氏

教師教育機関の国際ネットワークの現状
チャールズ・ホプキンス氏 & ロザリン・マックノウン氏

アジェンダ、会合目標 & NINGについて
ロザリン・マックノウン氏

★ 各5地域(アジア太平洋、アフリカ、アラブ、ヨーロッパ & 北アメリカ、ラテンアメリカとカリブ海)の参加者が、部屋毎に分かれて教師教育機関におけるESDの活動について討議(午後2)



18:30-20:00 レセプション

(スポーツカフェ 12)

岡山におけるESDおよびRCE
の活動についての報告
(Ex. 川の汚染による学校・市
民との連携や公民館活動に
ついてのビデオ)



2日目 11月15日(土)午前

☆生物多様性とESDの役割(午前1)

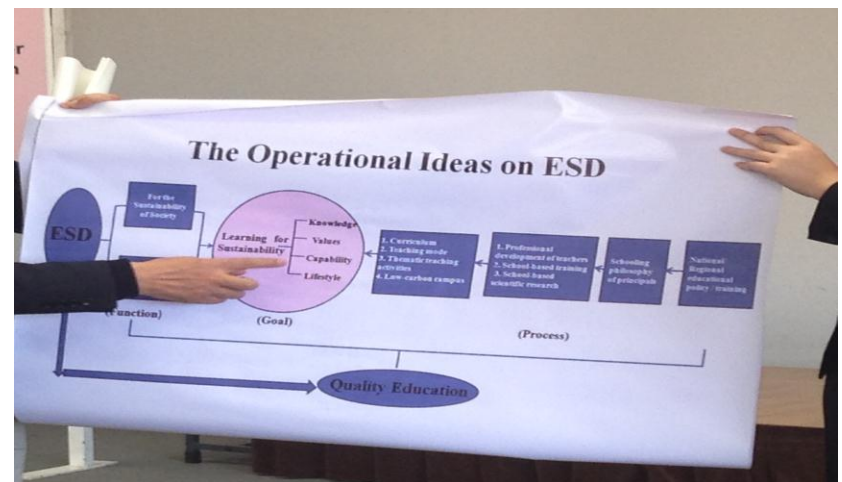
講演: 生物多様性と教育: 国連大学講師、名執芳博氏



☆ESDと教育の質における研究(午前2)

18カ国の研究成果: ビクトル・ノルト氏

討議: 質問と回答/グループ討議



2日目 11月15日(土)午後

★各テーマを選択し、各部屋に分かれてワークショップ(午後1)

- 生物多様性
- コミュニティベース同意
- 教師教育機関の活性化と他のESDの組織化戦略
- ESD活動の自己評価の為の枠組み
- 教師の専門性の標準とその標準の評価
- ESDと教師教育のプラットフォーム

★参加者の興味による小さなグループによるラウンドテーブル会議(午後2)

会議後:後楽園訪問



3日目 11月16日(日)午前

☆減災教育(午前1)

講演: 宮城教育大学 国際理解研究センター協力研究員
(日本ユネスコ国内委員会委員 前気仙沼市教育委員会副参事) 及川幸彦氏



☆地域計画会合(午前2)

5地域に分かれて討議

ESDにおけるGAPの為の計画



3日目 11月16日(日)午後

★特別関心のある領域に分かれての
討議(午後1)

- 野外教育
- 幼児の保育と教育
- ESDリーダーの為の専門的な発展
- リーダーと事務
- 気候変動
- ESDと本質的な教育



★教育学部の為の専門的な発展(午後2)

パネリスト:各地域からの活動報告
チェアと秘書からのリフレクション

最終日 11月17日(月)午前

☆フィールド旅行(午後1) 学校見学と都市調査ツアー(参加者選択制)

1) 三勲小学校: 後楽園での能楽披露。和太鼓。クラス活動見学。

2) 光南台中学校: 「地域を綺麗に」プログラム。光南台の人々とのゴミ減量活動や地域活性化におけるESDの取り組みとクラス活動を披露。

3) 清心女子高等学校: 科学クラブにおける2つの活動を発表。1989年から取り組んでいる絶滅危惧種であるサンショウウオの繁殖方法の開発について。吉備路訪問。



4) 生物多様性: 岡山県自然保護センター(NGO): 吉井川中流域に位置するセンターを訪問。ビデオ、環境負荷により、打撃を受ける自然湿地帯の保護方法について学ぶ意味で特に、島の重要性を認識。人間の活動によりすべての生命が生かされている生物多様性の1つである里山を認識。鳥、きつね、他のさまざまな生命の形がある。

5) 環境政策: 西川公園: 絶滅危惧種の赤信号の10種類以上のリストが西川に生息しているほど、生態系が保たれている。1974年-1983年に運河公園として多くの人々の関心を集め、自然を感じ、通年で様々な活動をしている。岡山市の良い水のシンボルとしてある。岡山市の建設においても、地域の循環システムを改修し、自転車道を改善し、強力なパイプを埋め込み、町並み、緑化や野外広告を制限している。

最終日 11月17日(月)午後

★ 地域毎に分かれて、 グループ討議(午後1)

テーマ:ESDと教師教育機関の
為の教育の質の含有

地域と国の国際組織の強化

地域のグループからの報告
最終的な評価形式

最終的な優先性

閉会のビジネス

★ 閉会の部(午後2)

チェア:チャールズ・ホプキン
ス氏、ロザリン・マックノウン氏

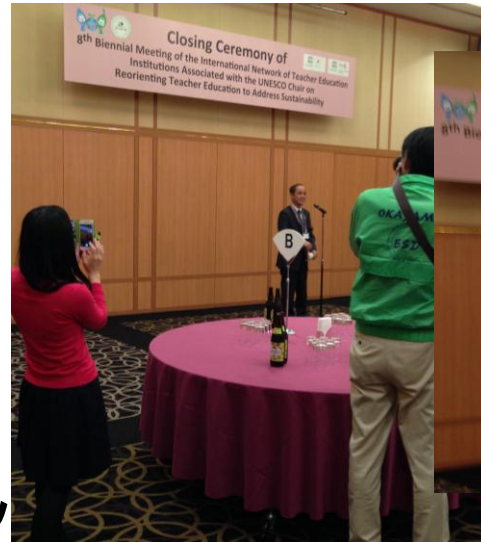


19:00 ~ 20:00

バンケット(ホテルサンピーチ岡山)

- 岡山市: 大森雅夫市長
- ユネスコチェア: チャールズ・ホプキンス氏
- 岡山市の公民館活動の紹介: 重森しおりさん
- 和太鼓の披露:

岡山学芸館高等学校の生徒



岡山市の皆さん、有り難うございました！

